

二河白道和讃

松 濤 基 作曲
鈴 木 錦 承 振 付

準備

1. 赤(右) 青(左) 2本の旗を用意して膝前肩幅の広さにおく
2. 旗底辺 22 cm高さ 22 cm半分にきり長さ 35 cmの竹を用いる 柄先及び旗の先に鈴をつける
3. 旗を赤右青左にして膝前におき静かに合掌する

唱え奉る善導大師二河白道の

御和讃に

両手同時に旗をもち立ちながら肩の高さにあげ立ちおわり両手下におろす

歌	手	足
(半拍休) た び び	両手胸前に組み(右手前)右上方を見る	右足右方に一步出す
と	両手押えるが如く左斜下方におろし	左足を右足の右方に一步出し
―	手首を上にあげる如くする(旗を立てる)	体重をかける
ひ と ―	両手下方を通り右上方にあげる	更に右足を右方に出し
り	左手のみ上方より円を画いて左斜下方に下す	左足を右足に揃え屈膝する
―	(旗は立てる)左下を見る	
(休)		
ひ ―	肘を張って両手を胸前に組む	ゆっくりスリ足にて右まわりして
が	(右手手前にて両手ふれる程度)	
―		
―		もとの位置にかえり前向きとなり
し よ	両手上方を通って右手斜右上方に左手斜左	右足を一步右にふみ出し
り	下方に伸し(旗は手の方向にのばす)右上を	左足を揃えて両脚を軽く屈膝する
―	見る	
(半拍休) に	左手斜左上方に伸し	スリ足にして
し ―	右手斜右下方に伸し	左方に行く
に	左上方を見る	
―		両足を揃えて立ち止り
む こ ―	左手上方を指したまま右手それに	更に左足を一步左方に出し
に	添う如く左下方におろし左上方を指す	
―		右足を揃えて両脚軽く屈膝する
―		

歌	手	足
(休)	両手両側より水平に波打たせながら胸前に	
た 	運び	右足一歩出し
い		左膝をつく
	両手波打たせつつ両側に広げる	
が		
あ		
り		
(休)		
きた	両手前下方より交差して	斜左方にスリ足で進み
は	胸前を通り斜上方に開く	両足揃えて立ち止り
さ	両手両側より胸前を通り	右足を左足の左方に出し屈膝して
か ま	大きく円を画いて胸前に	「クルリ」と左廻りして
く	交差して下方を見る	前向きとなる
(休)		
み 	両手それぞれ斜上方に開く	右足一歩斜右へ前進
ず		
の う	両手両側より下方を通り胸前に交差する	更に左足を斜右へ一歩前進
ず		

歌	手	足
(半拍休 み	右手胸前を通して右側へ	ゆっくりスリ足にて
な み		右廻りして前向きとなり
は	次に左手胸前に肘を張り横水平に左側へ流す	初めの位置にかえる
ー		
ー も	右手胸前にて左手首の上に直立	右足をさげて膝をつき
ゆ	さす(両手首交差し重る如くする)	
る		
ー		
ー		
ひ ー	両手上方に伸し上方を見る	右膝に揃えて左膝をつき(両膝をつく)
の		
ー		
ー		
ほ む	そのまま床につける(五体投地の姿勢)	座って上体を前倒する
ら		
ー		
1. 終って旗を置き 着物の乱れを直して合掌する 2. 2 番に続く場合は右膝をついたままで両手上方に伸し 更に前に水平におろし 頭をあげて左足をついて立つ		

ポイント注意

このお舞は、広く輝く一筋の道を信じて歩めば必ず浄土往生を遂げることができると思ひつつ舞ってください。